

不屈
号外
2021年 6月月15日
国賠同盟 鳥取県本部
〒682-0701 鳥取県東伯郡 湯梨浜町宇野 1689 竹中寿健 0858-35-3955

県本部第4回理事会報告

5月19日(木)湯梨浜町の竹中書道塾で県本部第4回理事会が行われました。4月27日の常任理事会の検討課題を受け、次期本部定期大会に提案する活動報告、運動方針について討議しました。

一、会員拡大

2020年代には治安維持法体制の決着をつけるために、同盟の政治的、組織的力を高め、諸課題を達成させるために、全国で2万人の組織建設が目標です。県本部の活動はどうだったかについて総括を行いました。

二、国会請願署名

国会請願は5月12日に行われました。鳥取県では、コロナ対策を最優先する立場から上京団には参加せず、1500筆の個人署名と、72筆の団体署名を上京団に託しました。民主団等への協力要請が、東・中・西部支部で積極的に行われました。

三、地方議会への意見書提出

三朝町に意見書採択の請願書を提出。

皆さんのご意見をお待ちしています。鳥取県の国賠同盟運動を進めるためにも、たくさんのお投稿をお願いします。

六、平和運動

以上、一年間の活動報告の概要です。活動の総括を受け、次期運動方針案を提案します。

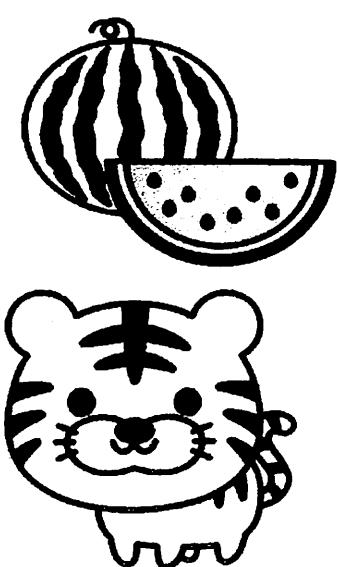
本部定期大会の開催について

コロナ禍の中での大会開催についても、6月23日の第5回理事会で最終決定する予定です。

中国ブロック交流会議

9月26日(日)～27日(月)

『広島市東区 神田山荘』で開催



* 「湯梨浜九条の会」が正式に団体加盟された。
* 原水協の平和大行進への参加。「改憲反対3000万署名」の推進。

支部活動報告

* 県本部 II 5 / 19 常任理事会。県本部大会の準備と議案書(案)の審議。

* 東部支部 II 5 / 12 「不屈」の仕分け

5 / 26 女性世話人会。20年度の署名活動などの反省、今後はどう活かすか。

会員拡大、対象者を挙げる。母親大会物

資の取り扱いを検討と20年度の活動のまとめ。

* 西部支部 II 5 / 12 理事会。

会員拡大、「時代の証言者」伊藤千代子の普及について討議。

* 中部支部 II 現有議席確保。4月25日投票の湯梨浜町議選は、1

名オーバーの大激戦の選挙でした。現職の増井久美さん、新人の信原和裕さんの2名を当選させることができました。2人共中部支部の同盟員であります。

三谷支部長をはじめ、中部同盟員も連日選挙戦に参画していただき、また、東部・西部支部の皆さんには、遠いところを応援に駆けつけていただきありがとうございました。心よりお礼を申し上げます。

住民の皆さんの要求実現のために奮闘していただけるものと思います。

9月頃には衆議院選挙が行われます。「市民と野党の共同」の輪をさらに広げ、勝利を目指しましょう!

ものと思ります。

(竹中)

会員拡大

2021年5月31日現在

	目標	前月到達	当月実績	当月到達
東部支部	190	133	0	133
中部支部	40	28	0	28
西部支部	150	99	1減	98
合計	380	260	1減	259

個人署名(前国会請願以降)

	目標	前月到達	当月実績	当月到達
東部支部	3700	0	5	5
中部支部	300	0	0	0
西部支部	2000	0	0	0
合計	6000	0	5	5

団体署名

	目標	前月到達	当月実績	当月到達
東部支部	150	0	0	0
中部支部	30	0	0	0
西部支部	150	0	0	0
合計	330	0	0	0

訂正とお詫び

5月号に掲載の句が途中で切れています。
正しくは左記のとおりです。
訂正とお詫びを申し上げます。

しまねよりしのはいよせてくるけはい

政局や世相をチクリごーしちごー

奥山 春雄

歯科医師の接種も知事の出番あり
ブラウンルート殺人鳥に気を付ける
年寄りを掃いて棄てるかお殿様

第二の故郷 北安省第八次

依吉密開拓団(その二)

今思うに入植当時、次々と開拓の花嫁さんとして入って来られ、不自由な中にも共同炊事に舌鼓を打った当時が、一番記憶が懐かしくよみがえり、いまさらながら第二の故郷の感がします。

終戦に思う

終戦、歴史のページは塗り替えられた。そこに日本人の姿は無い。まして北満の果ての開拓団は、残酷な苦しみ、悲しみを味わい耐えてきました。

引揚船に乗るまでは、地に這い泥をなめ、死の恐怖に昼は隠れ、夜行しながら南下。その間に子は死に、親にはぐれ、ああ思ふだに戦後三十五年の今も、その思いに身は震えるほどです。

誰が知ろう、誰に語ろう、唯々己の胸に去來するこの思い。

昭和二十年の九月十日、早朝に匪賊の襲撃を受けた本部と一部落集落の人たちは、九日の夜の出来事でした。私たちは一日遅れて襲われました。私たちの中にも逃げる途中、犠牲者を出しながら(土橋さんのおばあさんでした。)、惨めに耐えられぬ状況で親子別々、散りぢりに南下の結果とな

り、その後の様子は分る術もなく、日本本土に無事帰りし人は幾人か。胸の痛む気持ちです。

歴史の織りなす変遷は、如何程も成し難く思うなれど、われわれ日本人は、敗戦の思いも及ばぬ事態だけに、天に顔上げえず涙するだけでした。

しかしながら、原さん及び懸樋清君たちの努力により、会合の喜びを持ちえましたことは感に堪えません。皆様のお顔を押するに、当時の懐かしい思い出だけが胸にしおれ、永遠の眠りにつかれた同志の皆様に、申し訳ない次第でございました。

コロ島より博多に上陸しました私は、桟橋で婦人会の方々に、「ご苦労様でした」と挨拶いたきました時、「ああ日本は土地だ、ここは日本だ」と清の手を引き寄せ、熱い悲しみ、嬉しさが込み上げてきました。

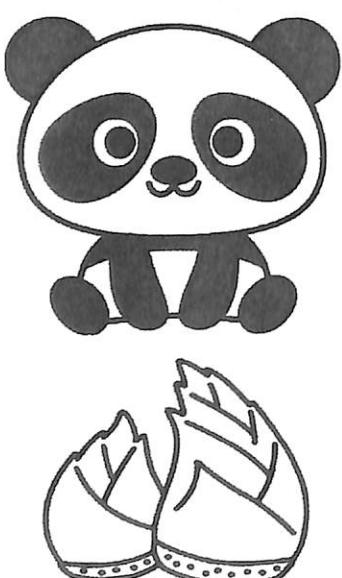
また、賃金や物価による改定率がマイナスの場合は、マクロ経済スライドによる調整は行わないとされているため、令和3年度の年金額改定においては、マクロ経済スライドによる調整は行われません。

しかし、マクロ経済スライドの未調整分は翌年度以降に繰り越されます(キャリーオーバー)。

異国の土に永久の眠りにつかれし人々よ、どうか安らかにお眠りください。

いつか渡渉する時期があれば必ず参ります。誓つて参ります。私のこの胸にこの思いが忘れることなしに去来します。悲しみに堪えない思いよ、さようなら。

(終わり)



フードプロジェクト米子(学生食料支援)を開催しました

フードプロジェクト米子実行委員会

5月15日(土)、米子児童文化センターにて、コロナ禍で生活に困っている学生を支援するため、フードプロジェクト米子を開催しました。米3kg、袋めん5個、インスタントカレー2個、缶詰2個、お菓子のセットを50袋用意していましたが、予想を超え68人の学生が受け取りに来られました。多くの学生が生活に困っていることを実感しました。

セットが渡せなかった学生には、カップラーメンや生活用品など自由に選べるコーナーから選んでもらったものと、急遽、米を追加して、持って帰つてもらいました。

学生からは「親が失業した」「コロナの影響で、実習に行くためにバイトができなくなつた」など、切実な状況を直接聞き、「食料支援は、本当に助かります」と、たくさんの感謝の声がありました。



当日は、民主青年同盟6名、医療生協2名、ボランティアの学生2名、日本共産党2名の合計12名で運営しました。

児童文化センターの職員の皆様にも、いろいろ相談に乗っていただきました。ありがとうございました。



ご支援いただいたたくさんの物資

たくさんの物資のご支援、寄付金ありがとうございました

皆様から、米約240kg、缶詰、カップ麺、インスタントラーメンなどの食料、ティッシュペーパーなどの生活用品、そして寄付金14万円などたくさんのご支援をいただき、本当にありがとうございました。

皆様のおかげで、学生食料支援を実施することができました。

引き続き学生支援の取り組みを行います

フードプロジェクトの取り組みを引き続き米子でも行っています。次回は7月を予定しています。また、ご協力の案内をいたしますので、引き続きご支援をよろしくお願ひいたします。